

釣行記（2017/08/05 あかいか）

数年ぶりに河岸を変えて”小松安宅沖”の”あかいか釣り”。当地をベースとする主催者から久しぶりに、出動3日前の連絡。持つべきは”釣友”。人数合わせは否めないが、素直に機会を与えてくれたことに感謝し、出動することとした。

2017/07/30 船キス釣りの”不満足感”に満ち溢れている折、対象も河岸も違うから、気晴らしには持って来いとばかりに、あまり釣果に期待は持てないものの、他所のいつも利用する船は、1～2週間先のこちらの出動希望日は、全て満席であることから、数少ない”機会”の一つとなり得ると考えたことが、出動の動機となるのであろう。

では、なぜ「あまり釣果に期待は持てない」のかと言うと、

- 1) 月齢6. 72(中潮)：月の満ち欠けで言えば、半月であり、やや明るい。
- 2) 週末であり、多くの船の出動が予想され、”場”の周囲はとても明るい。
- 3) 好天(晴れ)が予想され、月の明かりが遮断されない。

ネガティブな経験則であり、例外はなく、良い時の真逆の条件が重なることから。

しかし、”悪い条件”ばかりではなく、”良い条件”としては、

- 1) 船は、2年程空いたが、主催者を通してよく利用していた”勝手知ったる船”。
- 2) 船は、”乗合”でなく”仕立”同船者も全員旧知の”釣友”。
- 3) 爆釣もあったし、毎回確実に”そこそこ”確保していた実績のある船(船頭さん)

何れにしても、気の置けない仲間との釣行は、辛い時間帯も会話で気が紛れるし、釣れ出したら、”棚”や”スツテの色や種類”の情報が、船中大声で飛び交うのが良い。

今回の釣行で気づいた点や、会話の内容を思いつまま綴れば、

- 1) 当日は、全赤色の浮きスツテとオレンジ色の餌木または餌木タイプが”アタリ”
- 2) 当日は、前半は底、底から10mに、中盤は中層20～30m、後半以降納竿までは表層10～15mに”アタリ”が集中した。
- 3) 全時間帯”アタリ”はそこそこあるものの、真剣に喰ってくれないのであろう、”空振り”や”すっぱ抜け”が頻発。”針掛り”が良くない”喰い”が浅い日となった。
- 4) 釣れない時間帯に「今日は本物のエサが多くて、みんなお腹いっぱいなんだろうね」と投げしてみると、主催者や船頭さんは、無言で頷いていた。ナブラが沸いていた所以。
- 5) やはり、船は水深50mラインに留まることが”正解”なんだろう。

船頭さんを含む6名の釣果：竿頭は主催者と船頭さんの30杯、当方18杯の同数3位の船中約100杯であった。平均20杯あれば良かったのか、皆さん少々不満気味。

良く釣れるスツテをまたロスしてしまった。それも複数。もう売ってないんだよね。